

## 「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2021.06.24)

文：武田、写真：山 國

日 時：2021(令和3)年 6月24日(木) 9:30～15:00

気 象：晴(26℃)

活動エリア：44林班ろ、は-01・02、い

活動内容：作業道開設のルート確定、水源1付近の整備

参加者：内海宏一、斧田一陽、倉谷邦雄、薦田佳一、武田壽夫、宮本 廣、山田真也、山 國

会員8名

### <待ちに待った「宣言解除」>

久しぶりの**お山入り**。森林づくりも新しいスタートを切る。二ヶ月のご無沙汰だが山は思った程には荒れておらず、自然歩道に散見される土ハチの巣と気温に季節の進みを気付く。

今日の作業は「44林班は」内、**作業道ルート確定と水源①付近の整備**。作業道探査は30mの巻尺を携帯、尾根の標石104と105の間を起点に水源②への斜面を下る。トラバースする毎に目標木にテープ巻き(ピソク)と区間の距離を測りながら降りていくのだが、倒木や足元の傾斜が邪魔をする。

水源①は谷の中間、登れば天狗杉、降って自然歩道から西を見下ろす谷を刻んでいく。モニター地点の一つで周囲はなお倒木が谷と斜面に折り重なっている難所。**チェーンソーでの玉切りと杭留め、土留めつくりの難行**が続く。杭材の調達にも一苦労。

(閑話休題)今日は**美空ひばりの命日**とか、「リンゴ追分」「港町十三番地」等々、数々のメロディが聞こえてくる。

### <今日の成果>

作業道は**236m**を確定。斜面の横断や土留め、或いは倒木の処理など実際の道づくりは結構な作業になりそう。林床整備はチェーンソーが噛んでしまい、小屋から新たに運んだ一台で漸く玉切りをし終えるというアクシデントに見舞われ、また、棚積みの力仕事、杭材の搜索など、今日の疲れは何層倍か。水路の整備と橋づくりで作業終了。小屋に戻って巣箱を掛ける。これは来年の入居者が楽しみ。

### <写真編①>

【作業道ルートの確定：目標木のテープ巻きと距離計測】

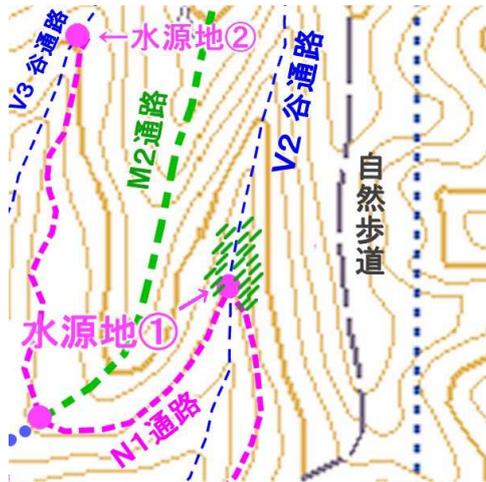


【巣箱を掛ける：入居者募集】



<写真編②>

【水源①付近の活動地要図】



【水源①：作業前の姿】



【作業中、咬まれたチェーンソー】



【適当な杭材は中々見付からない】



【棚積みも力仕事】



【土バチの巣-刺されたら大変な種類もあるとか】

